

エマヌエル・カタン 教授 特別講演会

Prof. Emmanuel Cattin (フランス Sorbonne 大学 教授)



講演題目

「神の威光」

— エーリッヒ・プシュヴァラと
マルティン・ハイデガーの思索の狭間で —

Majestas Dei - Erich Przywara, Martin Heidegger

【講演内容の紹介】

20世紀の中央ヨーロッパの思想界にあってそれぞれにとりわけ強烈な個性であったプシュヴァラとハイデガー……。両者は全く異なった思考圏を描き出しつつも、その両思想方向における〈神の威厳 (*majestas*)〉を巡っての緊張的対立の捉え返しから、イエズス会の『靈操』に基づく靈性に震源する根本問題において密接に相互に接触しあう……。

日時：2017年

4月 22 (土) 日

開場：13時30分

開演：14時00分

場所

上智大学2号館402室

日本語邦訳原稿を参加者全員に配布します。質疑応答も通訳付。

どなたでも 御来聴大いに歓迎！！ 聴講無料。

主催：上智大学 重点研究『グローバル化の動向に直面しての
〈宗教的靈性〉の刷新的適応と〈いのちの倫理〉の統合的構築』（代表：長町 裕司）

後援：上智大学 宗教哲学・宗教思想研究会